

琉球弧・宮古島の 軍事要塞化と戦争準備

いま、琉球弧の島々では急速に軍事基地化が進み、
そこに暮らす人々は、日常生活の中に戦争前夜の空気、
命が脅かされる危険を感じている。
多くの映像（写真・動画）などの正確な最新情報によって、
この受け入れ難い「不都合な真実」を伝えたい。

日 時：2025年 **10**月 **16**日（木）19:00～21:00（18:30 開場）

講 師：清水早子さん（ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表）

会 場：東京 YWCA 会館カフマンホール（JR 御茶ノ水駅徒歩4分）

参加費：1000円 学生無料（学生証提示）

*見逃し配信 500円



東京YWCA HP



Peatix



一般公道を走行訓練するミサイル車両



陸自宮古島駐屯地（千代田）

防衛省発表資料より 2024.12.10



2024年8月4日 多良間村



エメラルドグリーン的大海

清水早子さん（しみずはやこ）

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会
共同代表。
1995年より宮古島にて教育労働者として
就労。島の子どもたちと向き合いなが
ら、島の軍事化に反対し、反戦反基地の
市民運動に取り組んで四半世紀。
フェイスブック「いんしゃあかなす」
「NO MISSILE MIYAKOJIMA」
ブログ「ryukyuheiwa 琉球弧の軍事基地
化に反対するネットワーク」等で発信し
ている。



主催：公益財団法人東京YWCA 平和と人権事業部 平和と正義委員会
東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
TEL.03-3293-5456



軍事要塞化する宮古島



航空自衛隊宮古島分屯地レーダー基地（野原）



陸上自衛隊宮古島駐屯地（千代田）



一般公道を走行訓練するミサイル車両



自衛隊員の行軍（多良間村）



宮古島の広報誌 基地のある地域の新成人が旭日旗を背景に撮影した写真（上段左 2024 年 2 月）



国会前行動に 2000 人結集（2023 年 11 月 23 日）



ミサイル部隊配備に抗議ゲート前集会でゲートを封鎖させる（2020 年 3 月 21 日）

清水早子さんの寄稿論文・レポート

- ・「フォトレポート『下地島空港』の軍事利用を許さない」2002 年
- ・「国策に翻弄される沖縄・宮古島『下地島空港』」2007 年
- ・「宮古諸島・重層する被支配の歴史」2009 年
- ・「追体験・宮古島 1945～1972」2012 年
- ・「宮古島軍事化フォトレポート 2022 軍事要塞化と調う戦争準備」2022 年
※ いずれも労働総合誌「飛礫」に寄稿
- ・「オキナワ・宮古島で考える『ゆいまー』のオルタナティブ」2011 年
※ アジア女性資料センター「女性たちの 21 世紀」65 号
- ・「けーし風」（新沖縄フォーラム刊行季刊誌）に宮古島闘いのレポート
※ 2017 年、2018 年、2019 年、2021 年、2023 年に寄稿
- ・「琉球弧の軍事要塞化と日米軍再編」2022 年
※ コンパス 21 刊行委員会発行「コンパス 21」vol.25
- ・「島はどう変わったか ミサイル基地がやって来た観光の島・宮古島」
※ 建築ジャーナル 2025 年 7 月号

